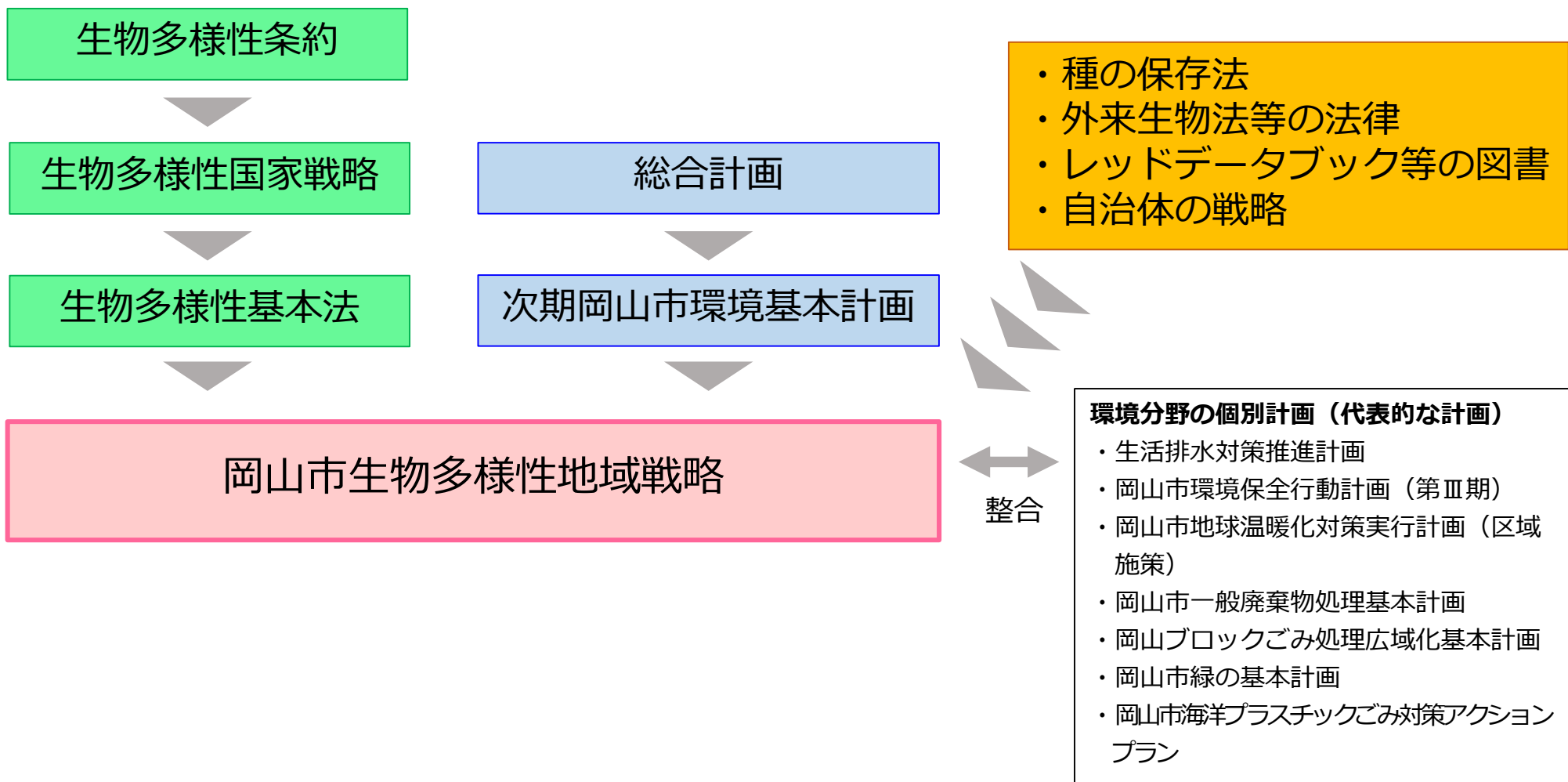


# 01 | 現行戦略について

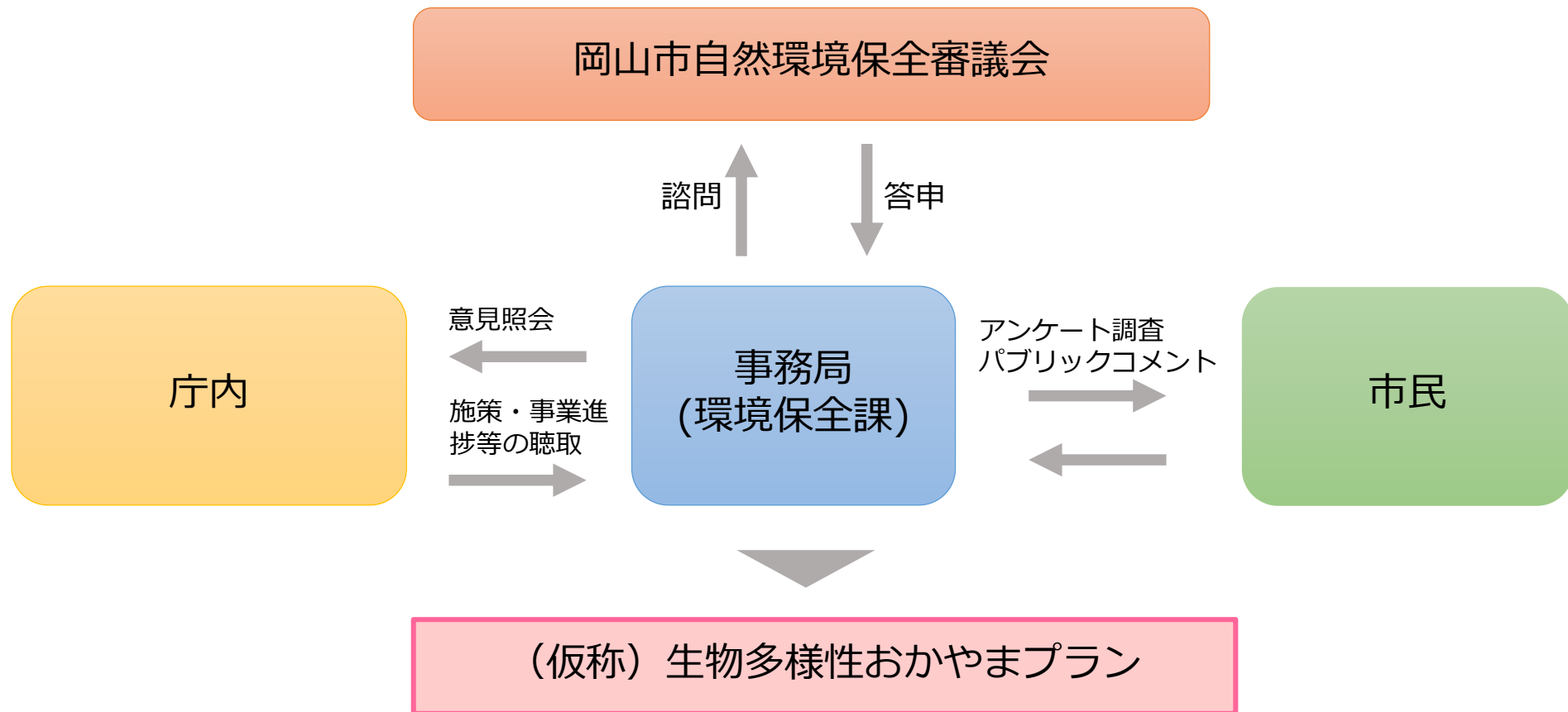
	岡山市生物多様性地域戦略 (現行戦略)
策定年月	H29.3
計画期間	H28～R7
将来像	すべてのいのちにやさしく心ゆたかなまち岡山
基本的方針・目標	<ol style="list-style-type: none"><li>1 野生生物や生態系を保護・保全・再生する</li><li>2 自然のめぐみのありがたみを感じ・伝え・活かす</li><li>3 多様な主体が連携して活動に取り組む</li></ol>
重点プロジェクト	<ol style="list-style-type: none"><li>1 開発行為や事業活動における適切な環境配慮の推進</li><li>2 重要な生態系の保全</li><li>3 「まちなか」における生物多様性の保全と活用</li><li>4 生物多様性を学ぶ拠点づくり</li><li>5 主体や地域単位による活動の推進</li><li>6 里地里山里海を支える人材の確保</li></ol>



## 02 | 戦略の位置づけ



# 03 | 策定体制



## 04 | 次期戦略の概要

名称	(仮称) 生物多様性おかやまプラン ※副題含め、詳細については今後検討
対象区域	岡山市全域
期間	令和8年度（2026年度）～令和17年度（2035年度）



# 05 策定スケジュール

年度	R6												R7										
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
フロー	<p>骨子</p> <p>国内外の動向整理 ←→ 現状と課題の整理 ←→ 目標、将来像の設定</p>												<p>原案 → 修正案 → 最終案 → 答申案 ● 答申</p> <p>← 施策体系の整理 ・重点プロジェクトの設定 ・環境指標の設定</p> <p>← パブコメ準備</p>										
市民	<p>←→ 市民アンケート</p> <p>←→ 事業者アンケート</p> <p>←→ ワークショップ（3回）</p>												<p>←→ 地域説明</p> <p>←→ パブコメ</p>										
審議会	<p>● 改正方針、現状・課題</p> <p>● 目標・改定の方向性の確認</p> <p>● 骨子について</p>												<p>● 原案について</p> <p>● 修正案について</p> <p>● パブコメ結果報告</p> <p>● 答申案について</p>										
庁内調整	<p>←→ 施策・事業進捗の照会、調査①</p> <p>←→ 同②</p>												<p>←→ 必要に応じて会議を開催</p>										
議会	<p>● [委員会] 骨子報告</p>												<p>● [委員会] 修正案報告</p> <p>● [委員会] 答申案報告</p>										



## 06 | 30by30

### 30by30

2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする世界的な目標



- ◆生物の絶滅リスクが3割減少する見込み
- ◆健全な生態系が回復することで、気候変動や災害の緩和に繋がり人間生活も豊かになる

### <達成に向けた取組み>

#### 国立公園等の保護地域を拡張

新たに保護地域を拡張し、管理の質も向上させる。

#### OECD認定

民間の所有地等を環境省が自然共生サイトとして認定し、保護地域と重複する部分を除いた地域をOECDとし、30%に組み込む。



## 07 | TNFD (Taskforce on Nature-related Financial Disclosures)

### TNFD

#### 自然関連財務情報開示タスクフォース

- ◆ 企業・団体が、自身の経済活動による自然資本・生物多様性への影響を適切に評価し、開示するための枠組みを構築する国際的な組織
- ◆ 資金の流れがネイチャーポジティブに貢献することを目的とする

#### 開示推奨項目

- ①ガバナンス ②戦略 ③リスクとインパクト管理 ④指標と目標



- ◆ SDGsの具体的な実践となる
- ◆ 投資の指標となり、企業への投資拡大につながる
- ◆ 企業価値の向上につながる



08

# 次期岡山市生物多様性地域戦略のフレーム

将来像

〇〇なまちおかやま

